

第206号

令和6年4月10日発行

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会

発行人 積田優

編集人 広報委員会

(委員長 矢嶋博和)

事務局

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋4-1-7(建産連会館内)

http://www.saidenkyo.jp/ E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

TEL 048(864)0385

編集

日本工業経済新聞社(埼玉建設新聞)

さいのかがやき 彩の耀



イノベーションセミナー

「待たなし 働き方改革」

企業が何をすべきか明示



建設業の働き方が大きく変わる。いよいよ4月から、時間外労働における罰則付き上限規制の適用が開始されました。当協会では1月18日にイノベーションセミナーを東日本建設業保証(株)埼玉支店に共催いただき「建設業の働き方改革」をテーマとして、さいたま市内のホテルブリランテ武蔵野で開催しました。

参加者を前に積田会長は「4月から時間外労働の上限規制が適用され、私たちの働く環境はマインドが大きく変化し、それに伴い経営環境も劇的に変わっています」と強調すると、「大きなピンチは大きなチャンスでもあると思っています。協会としてここに着眼点を置いて活動していきたい」との考えを述べ、前向きに取り組んでいこうと呼び掛けました。

セミナーの講師は、労働基準監督署の勤務歴も長く、建設経営サービス提携講師で労働衛生コンサルタントの村木宏吉氏が務めました。テーマは、「待たなし 建設業の働き方改革～企業は何をすべきか～」で、村木講師は、建設業の働き方改革や法律ができた背景・内容を説明したうえで、国土交通省や厚生労働省の今後の動きを解説しました。さらに「これだけは実行してほしい」と前置きしたうえで、「適切な労働時間の把握、就業規則や36(サブプロク)協定届など適切な書類の提出、適切な割増賃金の支払、適切な工期の設定、生産性の向上等」をあげ、基本的な事項を適切に対応する重要性を説きました。終了後の質疑応答では、高度プロフェッショナル制度や生産性向上の具体的事例などについて質問が出されるなど、関心の高さが見られました。

たなし 建設業の働き方改革～企業は何をすべきか～」で、村木講師は、建設業の働き方改革や法律ができた背景・内容を説明したうえで、国土交通省や厚生労働省の今後の動きを解説しました。さらに「これだけは実行してほしい」と前置きしたうえで、「適切な労働時間の把握、就業規則や36(サブプロク)協定届など適切な書類の提出、適切な割増賃金の支払、適切な工期の設定、生産性の向上等」をあげ、基本的な事項を適切に対応する重要性を説きました。終了後の質疑応答では、高度プロフェッショナル制度や生産性向上の具体的事例などについて質問が出されるなど、関心の高さが見られました。



多くの会員が聴講しました

2024年 SDGs事業

当協会では、2020年1月開催のイノベーションセミナーにて、2030年に向けた持続可能な開発目標を策定し、発表いたしました。その1年後にこの事業のうち3項目を宣言書にまとめ『埼玉県SDGsパートナー登録』としました。今年2024年を迎え3年が経過し継続手続きを行ったところです。

協会のSDGs事業は大項目を3つ、その中にそれぞれ3項目の重点取組を計画、合わせて9項目となります。当初の予定通り、順調に推移していくには難しい内容ではありますが、常に振り返りが必要と考え、担当委員会では、次年度予算事業計画に加え、如何に実行すれば目標値達成に近づけるかを検討しています。

1. 県有電気設備の施工と保全、災害に打ち勝つ確かな構築

【2030Action】
私たちは、県民の皆様と共に「ずっと住み続けていきたい」と思える街づくりのため、電気設備業者として貢献して参ります。
回線・動力・光・エネルギーは私たちの生活を支えています。その一翼を担う我々従業者は、非常時にはより一層の対応力を要求されます。常にその力を発揮できるような事業を進めてまいります。

2. 半世紀の実績と先端技術、創造する未来の埼玉

【2030Action】
一般社団法人埼玉県電業協会は、2025年に設立50周年を迎えます。当初より「技術と信頼」をモットーとして先駆者が作り出したこの高品質は今も最新技術とこの先10年を見据えています。それは社会全体の進化と相まってこの業界のイノベーションの大切さを知っている会員で構成されているからです。私たちは一丸となり未来の埼玉を創造してまいります。

3. 魅力あふれる電設業界、発展し続ける会員企業

【2030Action】
これからの電設業界として、希望をもって働ける人たちが集まるような業界になり、一人ひとりの働き手に充実感を持ってもらいたいと思っています。そのために、私たち会員企業は個々の経営を成長させていかなければなりません。
埼玉県電業協会の全会員企業は目標をひとつにし、達成するために努力してまいります。

協会の大項目と2030Action

「学び豊かな 笑顔あふれる 幸せ未来都市 おけがわ」 を目指して



桶川市長 小野 克典

一般社団法人埼玉
県電業協会の皆様におかれましては、日頃より、市民生活に密接な関わりを持つ

電気事業活動を通じて、社会経済の安定と住民福祉の向上に多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

桶川市は、埼玉県ほぼ中央部に位置し、都心から40キロ圏内ということもあり、東京方面の通勤・通学に便利な首都近郊の住宅都市として発展してきました。

古くは、中山道の日本橋から数えて6番目の宿場町として栄え、特に紅花は、当時山形に次いで全国2番目の生産量を誇り、品質の良さから「桶川臙脂」として全国的に知られ、桶川に多くの富をもたらしました。

近年は、圏央道（首都圏中央連絡自動車道）が開通し、市内に2つのI.C.が設置され、新たな広域交通網の形成により、交通の利便性が飛躍的に向上しました。

更に今後、首都高速道路（新大宮上尾道路）と圏央道桶川北本I.C.の連結が計画されるなど、全国と首都圏を結ぶ交通の要衝として、まちのポテンシャルが益々高まっています。こうした恵まれた地の利を活かし、現在、圏央道桶川北本I.C.に近接するエリアに令和7年3月の開業に向けて、道の駅「べに花の郷おけがわ」の建設を進めており、道の駅が開業することによる観光や農畜産業等の振興はもとより、人と物とが行き交う新たな賑わいの創出が期待されています。

こうした中、令和5年3月に策定したまちづくりの羅針盤である「桶川市第六次総合計画」において、「学び豊かな 笑顔あふれる 幸せ未来都

市 おけがわ」を将来像と定め、現在進めている企業誘致やJR桶川駅東口整備事業をはじめ、医療・福祉・子育て・教育・スポーツ等、ハード・ソフト両面から幅広い分野にわたる事業を推進するとともに、持続可能なまちづくりに取り組んでいるところです。

ここ数年、少子高齢化・人口減少の急速な進展や、コロナ禍に伴う人々の生活スタイル・価値観の変化、世界的な物価高騰やエネルギー価格の上昇に伴う市民生活と地域経済への影響など、地方自治を取り巻く環境は変化の著しい時代を迎えています。こうした時代に対応するため、行政は、今まで以上に社会の変化の流れと市民ニーズを的確につかみ取り、柔軟かつスピード感をもって各種施策を進めていかなくてはなりません。

電設業界の皆様におかれましても、変化の激しい時代の中、SDGsやDXの推進、ゼロカーボン社会への対応、「2024年問題」等々、様々な課題に取り組みながら事業経営をされていることと存じます。また、この度の能登半島地震の被災地では、電気・ガス・水道をはじめとするライフラインが長期にわたって寸断されるなど、甚大な被害が発生しており、こうした災害の激甚化・頻発化が進む中で、生活のインフラである電気の安定的な供給を支える電設業界へ寄せられる期待は益々高まっていることと存じます。

市といたしましては、今後も皆様方のご協力をいただきながら、安心・安全で誰もが幸せを実感できるまちづくりを進めてまいりますので、引き続き、市政推進に対しますご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、埼玉県電業協会の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝にてのご活躍をお祈り申し上げます。

令和6年度の委員会活動案内

総務委員会	法人業務の要として主要行事に取組む
企業対策委員会	協会50周年に向けた会員企業の発展と経営基盤の強化
技術研究委員会	魅力ある最新技術講習会の開催
事故防止対策委員会	災害対策と安全意識の強化
広報委員会	協会広報としての役目を前面に
人材育成委員会	人材の流れをつくる取組

2月理事会のもよう



総務委員会 委員長 橋本 幹男

本年度の総務委員会は、例年通りですが定時総会、表彰、賀詞交歓会・イノベーションセミナー、会員交流大会および共同購買事業を計画しています。

事業内容についても基本的に例年通りとなりますが、本年度は役員改選・委員会編成にともない全体会議を開催させていただきますので、できるだけ多くの会員皆様へ出席していただき、今後の

各委員会事業へのご理解を深め参加をお願いできればと思います。共同購買事業については昨年度も会員皆様の多大なご協力により目標を達成することができました。大変ありがとうございました。会員皆様のご協力で深く感謝するとともに、協会運営費や会費の一助とすべく本年度も引き続きのご協力をお願いします。その他協会SDGsの推進や関係各所との連絡調整など、事務局と協力して協会運営がスムーズにいくよう心がけていきますので、1年間どうぞよろしく申し上げます。

企業対策委員会 委員長 吉村 光司

企業対策委員会では、会員企業の経営課題に直結する有益な取り組みを実施してまいります。

本年度は4回のセミナーを計画しており、第1回は6月開催予定です。2020年宣言として「耀け 埼玉 埼玉電協！」を掲げ2030年目標を設定した当協会は折り返しとなる来年に50周年を迎えます。そこで今一度目標へ向けての意識醸成とさらなるSDGsの理解を深めるべく埼玉版SDGsカードゲームを開催する予定です。

第2回は8月開催予定です。例年通り埼玉県空調衛生設備協会

との共催により関係行政機関より講師をお招きしご講演頂きます。第3回は10月中旬の予定です。開催内容は未定です。今後の委員会にて検討いたします。第4回は来年1月のイノベーションセミナーにおいて総務委員会との合同事業となります。内容は今後総務委員会と検討してまいります。その他前述いたしましたとおり、(一社)埼玉県電業協会は2025年11月に創立50周年を迎えます。その時を見据え、会員各企業の持続的な発展と強靱な経営基盤を構築できるよう、委員会を進めてまいります。セミナー等ご案内の際は奮ってご参加していただければ幸いです。

技術研究委員会 委員長 深井 正美

技術研究委員会では、技術革新のスピードに合わせた最新の技術講習会を開催いたします。テーマについては最新の避雷針設備等の講習会を5月に開催。省エネルギーについての講習会を11月に開催。何よりも皆様へ参加したい魅力ある講習会の開催を目指します。

また、電気工事従事者が必要とする資格・知識・技能を習得す

るため、1級・2級電気工事施工管理技士、第一種・二種電気工事士、消防設備士甲種4類、1級・2級電気通信工事施工管理技士などの受験準備講習会の開催、登録電気工事基幹技能者認定講習会や石綿・酸欠・足場組立の各種技能講習会等も随時開催いたします。さらに、埼玉県営住宅消防設備保守点検業務・消防訓練実施支援業務などの受託業務などにも積極的に取り組んでまいりますので、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

事故防止対策委員会 委員長 山本 和利

このテーマのもと、事故防止対策委員会は様々な活動を展開し、安全な作業環境の維持と災害時の迅速な対応を目指します。

埼玉県との防災協定に基づく「災害実働マニュアル」は昨年度DXへの取組としてスマホからでも閲覧可能な「オンライン災害実働マニュアル」へ変更させて頂きました。皆様の安全を確保しつつ、より実効性の有る体制づくりにご協力のほど宜しくお願い致します。

また、本年度は労働安全衛生規則の一部改正による保護具着用管理責任者教育をはじめ、低圧・高圧/特別高圧電気取扱者特別

教育、職長・安全衛生責任者教育など、電気設備工事業で必要な安全・事故防止に係わる講習を引き続き開催致しますので是非ご活用下さい。7月には「安全大会」開催を予定し、安全管理者表彰も行いますので会員皆様のご積極的な参加をお願い致します。9月には「災害復旧対策講習会」の開催を予定しています。電業協会としてSDGsに沿った活動も継続中で、事故防止対策委員会は今年度もBCPを全ての会員企業が2030年までの策定を目指し、非常時における会員各企業活動のリスクを少しでも軽減して頂けるよう、お手伝いの準備を進めて参ります。

広報委員会 委員長 矢嶋 博和

広報委員会の本年度の事業としまして、広報紙『彩の耀』を引き続き年4回発行させていただきます。例年同様、県知事を始め各市町村の長の挨拶をいただくほか、会員名簿も年1回発行を夏に行います。広く会員の方々や一般の皆様から意見をお伺いし、より良い彩の耀を発行させていただきます。

SDGs事業については各委員会での動きを後方支援として周知協力をさせていただくことが当委員会としての使命でありますので、順次対応してまいります。また人材育成委員会との合同事業として、県庁オープンデーへの出展、県立工業高校での出前事業を生徒の方々に寄り添った内容で両委員会にて協力し合い、事業とさせていただきます。

人材育成委員会 委員長 佐野 雄一郎

人材不足は業界に限らず、全国的に多業種にわたり問題となっています。人材育成委員会では新卒採用に向けての取組を行ってまいりました。昨年刷新した『Career Value』では求人に特化したサイトとして運営を開始しました。業界PRと若者のアクセスが増えるようなサイトとして、会員各社の求人活動に活用して頂ければと思います。

教育機関との連携を本年も積極的に行い、生徒に業界への興味を持ってもらう事、やってみよう職種となるように、PR方法を考えながら事業を進めていきたいと思っております。各支部の会員と教

育機関の結び付けも出来ればと考えています。4月の【新入社員教育】や7月の【フォローアップ教育】では定着率の向上を目標に設営しています。多くの会員社員の参加により、内容がアップデートされます。参加者の送り込みをお願いいたします。SDGs事業は、人手不足の一つの取組として、活用されていない人材(女性や定年者)の発掘をするために、どの様な事業を展開して行けば良いかを考えていき、会員各社で実現可能なシステムや組織作りの参考となるような取組を実施して行こうと思っております。各事業へのご理解とご協力よろしく申し上げます。

委員会の年間活動予定

【総務委員会】

4月	決算監査
5月	委員会① 定時総会／懇親会（優良従業員表彰式）
6月	全体会議
7月	委員会②
10月	会員交流大会
11月	会員交流大会 中間監査
1月	イノベーションセミナー 賀詞交歓会
2月	委員会③（次年度事業計画・予算）

【人材育成委員会】

4月	新入社員研修会【ビジネスマナー／雇入れ時安全】 学校PR
5月	学校PR 委員会①（SQUARE・JS見学）
6月	全体会議
7月	新入社員フォローアップ研修会
8月	委員会②
11月	県庁オープンデー（広報委員会合同）
12月	出前授業
2月	委員会③
3月	委員会④

【企業対策委員会】

4月	委員会①
6月	第1回企業対策セミナー 全体会議
8月	委員会② 第2回企業対策セミナー
10月	委員会③ 第3回企業対策セミナー
1月	委員会④ イノベーションセミナー

【事故防止対策委員会】

4月	委員会①
5月	職長能力向上教育 可搬式防災無線設置訓練（県庁） 保護具着用管理責任者教育
6月	低圧電気取扱者特別教育1-2/2 職長・安全衛生責任者教育1-2/2 全体会議
7月	委員会② 安全大会 墜落制止用器具（フルハーネス型）安全衛生特別教育 災害実働マニュアル電子化 作成
8月	災害実働マニュアル電子化 作成
9月	災害復旧対策講習会
10月	委員会③ 災害対策研修会（東京国際フォーラム） 高圧特別高圧1-2/2
2月	委員会④
3月	災害実働マニュアルに基づくシミュレーション

【広報委員会】

4月	「彩の耀」第206号発行
6月	全体会議
7月	委員会①
8月	「彩の耀」第207号発行 会員名簿（令和6年版）作成配布
11月	「彩の耀」第208号発行 県庁オープンデー（人材育成委員会合同）
1月	「彩の耀」第209号発行
2月	委員会②

【技術研究委員会】

4月	第二種（筆記）1/3
5月	第二種（筆記）2-3/3／委員会①／第1回技術講習会
6月	全体会議／1級（一次）1-3/5／消防甲4 1-3/3／酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習1-3/3 石綿技能講習1-2/2／第二種（技能）1-2/2
7月	委員会②／1級（一次）4-5/5／1級通信（一次）1-2/2／石綿含有建材調査者講習 県営住宅消防・電気保守点検業務等説明会
8月	足場の組立て等作業主任者技能講習1-2/2／あと施工アンカー講習会／第一種（筆記）1/5
9月	1級（二次）1-2/4／第一種（筆記）2-5/5
10月	2級1-3/5／1級通信（二次）1-2/2／2級通信1-3/3／1級（二次）3-4/4 第一種（技能）1-2/5／登録電気工事基幹技能者認定講習会1-2/2
11月	第一種（技能）3-5/5／2級4-5/5／委員会③／第2回技術講習会
12月	県営住宅消防・電気保守点検業務等説明会
2月	委員会④

能登半島地震について

Voice

(株)新電気 代表取締役 西藤 輝

令和6年能登半島地震により被害に遭われた皆さまへ、心からのお見舞いを申し上げます。そして、ご家族や大切な方々を亡くされた皆さまへ、謹んでお悔やみを申し上げます。

能登の思い出といえば、珠洲市では珠洲市陶芸センターで珠洲焼を体験したり、大野製炭工場のお茶会用のお茶炭の音が心地良かったことを覚えています。奥能登塩田村の揚げ浜式製塩では、まさに手塩にかけた塩づくりで浜土の日々の努力の賜物であり、輪島朝市ではお土産を買ったり、輪島塗の修理について話をしたりしたことがありました。

今回の地震では、珠洲市沿岸部でわずか5分で高さ4mに達する津波が襲い、塩田村では海底が隆起し、海岸線が100mほど遠ざかりました。輪島朝市周辺では大規模な火災が発生したことにより、住宅などおよそ240棟が焼けました。以前訪れた風景があつという間に変わっていく様子がテレビで流れ、言葉が出ませんでした。

今回の地震で思ったことは、地震発生直後に被害状況の把握が出来ていなくていつもより初動対応に遅れが出ていたように感じます。マグニチュード7.6という数値は阪神淡路大震災や熊本地震より大きい地震が起きているので、陸路だけでなく海路、空路からの救助も早急に着手出来ていればまた、変わった結果になっていたかもしれません。

ボランティアについても行政から「今はまだ来ないでください」というメッセージが流れ、必要なボランティアが被災地に入れない状態でした。マナーさえ守ればそこに支援を求めている人がいる限り、ボランティア活動が出来れば良かったのではと思います。当

社としては、BCPの災害応援協定書を日々同業者と策定し、災害応援が出来る会社となれればと思います。被災地以外からの災害応援は非常に大事なことでと改めて感じた次第です。

電気関係の話としては、火元の住宅で電気配線に溶けた痕跡があったことから、配線がショートした可能性が指摘されています。木造住宅が多かったのも大規模な火災の原因の一つだったので、木造住宅では感震ブレーカの設置推奨が必要なのかもしれません。

最後に、一日も早いご復興を心よりお祈り申し上げます。



©石川県観光連盟

「大きな節目になる年に」 賀詞交歓会を開催

新年の門出を飾る「新年賀詞交歓会」を1月18日さいたま市内のホテルブリランテ武蔵野で開きました。時間外労働の罰則付き上限規制の適用が4月から始まるなど、働き方改革が本格化することなどを念頭に積田会長は「2024年は、5年後、10年後に業界にとって大きな節目になり、各企業において成長の分かれ目だったと位置づけられる激動の年になると思う」と予測しました。その理由として「さまざまな物価が上がり、賃金も上がる中、コストカット経営はもうできません。ハイクオリティ経営をしないと生き残れません」と説明。さらに、「この経営ができる会社はこの局面が大きなチャンスとなりますが、できない会社は大きな危機となります」と強調。好機と危機が表裏一体で、協会としてこの

時代にあった活動や有益な情報を提供して、力を合わせて取り組んでいく姿勢を示し、今年1年の協会員および協会のさらなる発展を呼び掛けました。



多くの会員・賛助会員が出席して開かれました

協会のうごき

3月

- 1日 第1回 総務部会
- 19日 50周年事業 小委員会
第11回 理事会
- 27日 第4回 人材育成委員会

4月

- 2~4日 令和6年度 新入社員研修
(ビジネスマナー・雇入れ時安全衛生教育)
- 12日 第1回企業対策委員会
- 16日 50周年事業小委員会
第1回 理事会
- 23日 決算監査

5月

- 8日 第2回 理事会
- 10日 職長・安全衛生責任者 能力向上教育
- 16日 第1回 技術講習会
- 21日 保護具着用管理責任者教育
- 22日 第1回 人材育成委員会
- 28日 第3回 理事会/令和6年度 定時総会
第4回 理事会/令和6年度 総会懇親会

埼玉県認定職業訓練事業

第二種電気工事士試験(筆記)受験準備講習会

4月25・5月9・16日

(一社)埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

さいたま支部(17社)

- 旭電気工業(株)(大宮区)
- 浦和電気工事(株)(南区)
- 大塚電設(株)(浦和区)
- (株)岡村電機(緑区)
- 毛塚電気工事(株)(大宮区)
- 埼玉田中電気(株)(南区)
- 埼玉電設(株)(中央区)

- 栄電業(株)(上尾市)
- 新生電気工事(株)(見沼区)
- (株)積田電業社(浦和区)
- 中村電設工業(株)(岩槻区)
- (株)麓島電機(大宮区)
- (株)万代電気工業(桜区)
- (株)松岡電気工業(桜区)
- (株)丸電(西区)
- 瑞穂電設(株)(北区)
- ◎(株)八洲電業社(北区)

東部支部(13社)

- (株)内田電気商会(久喜市)
- (株)大久保電気(越谷市)
- 倉持電気(株)(三郷市)
- (株)三進電気工事(上尾市)
- 島村電業(株)(上尾市)
- (株)新電気(三郷市)
- (株)大広電気(八潮市)
- 太洋電設工業(株)(越谷市)
- (株)高岡電気工業(松伏町)
- ニチデン技術サービス(株)(北本市)

西部支部(18社)

- 飯島電器工事(株)(川越市)
- (株)市之瀬電設(志木市)
- (株)大庭電気商会(川越市)
- (株)岡島電気商会(川越市)
- (株)おぎでん(川越市)
- クマタ(株)(狭山市)
- (株)三共電気商会(和光市)
- (株)関根電気商会(川越市)
- 相馬電業(株)(和光市)
- (株)電成社(川越市)
- (株)中村電気(新座市)
- ◎橋本電工(所沢市)
- フジヤ電気工事(株)(川越市)
- (株)北産電設(所沢市)
- (株)まつもと電機(和光市)
- (株)明電社(川越市)
- (株)ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

- (株)奥富電気工事(川口市)
- (株)佐久間電設(川口市)
- 佐野電機(株)(川口市)
- 三位電気(株)(川口市)
- 高山電設工業(株)(川口市)
- 那須電機工業(株)(川口市)

北部支部(15社)

- イーテクノス(株)(熊谷市)
- (株)イトラスト埼玉(行田市)
- (株)内村電気(深谷市)
- (株)エコー(深谷市)
- 共和電機(株)(秩父市)
- 熊谷電機(株)(熊谷市)
- (株)栗原電機(深谷市)
- 霜田電気(株)(皆野町)
- 中外電気工業(株)(深谷市)
- (株)東電工業社(熊谷市)
- (株)長井電機(熊谷市)
- (株)沼尻電気工事(深谷市)
- (株)早川電工(鴻巣市)
- 松山電設(株)(東松山市)
- ◎(株)躍進電気(深谷市)

南部支部(7社)

- ◎内山電設(株)(川口市)



令和5年度「消防訓練実施支援業務」

当協会では3年前より県営住宅等の消防訓練支援業務を受託し、令和5年度は令和6年1月から約50箇所で行われた団地の消防訓練の支援を行いました。

各住宅の電気設備等を管理している業者を中心に、自治会長と打ち合わせを行い、開催日時を調整しました。消防訓練として、①避難訓練②通報訓練③消火訓練の3項目を行いました。自治会長を中心とした模擬通報では、集まった多くの住民の方々が耳を傾けていました。消火訓練では、まずは初期消火についての注意事項として逃げるための避難経路を確保し、火元の前方向けてホースを左右に揺らしながら向けていくことを意識し、数メートル離れた場所より水消火器にて訓練しました。通常は粉が入っている消火器ですが、訓練のため水を入れた消火器を使います。そのため、実際より若干重く、

なかなか持って火に向かうのが難しい場面もありました。その場合は置いて、ホースだけを傾けるよう指導を受けました。

多くの方が参加されたことから、昨今、火事の件数が多いことや、災害への意識の高まりもあり、高齢の方々が訓練されることの大切さが感じられていました。これからも安全安心をモットーに協力できるよう協会一丸となって応援してまいりたいと思います。



避難訓練：多くの参加者が中庭に避難



水消火器で訓練